

福島県立会津学鳳高等学校・中学校
スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 第Ⅲ期目研究開発の概要

- 1 指定期間 令和3年度～令和7年度
- 2 研究開発課題 「会津の地域資源を活用した、会津から世界を創造する科学技術者の育成」
- 3 事業テーマ 「サステナビリティ」 「Think Globally Act Locally」

4 目標・目的

会津大学や会津の企業等の地域資源を活用し、ローカルな会津人としてのアイデンティティを持ちつつも、グローバルな視野を持って学び、発信することができる人材育成のための効果的な教育プログラムの研究開発を行うことを目的として、生徒の5つの資質・能力の向上を目指し、Ⅱ期目までに確立した人材育成プログラムを精選・再編・拡充する。

5 育成したい5つの資質・能力

A 課題発見力	持続可能な社会を目指すため、社会や身近な問題について、自らが課題を発見していく力
B 創造的思考力	科学的な知識や技術をもとに、課題を解決するための新たな考えを創造していく力
C 情報活用能力	プログラミング等の専門的な知識を備え、Society5.0の社会を発展させていくことができる情報活用能力
D コミュニケーション力	お互いを理解しあい、研究の遂行や成果の外部発信をすることができる力、様々な人たちと協働することができる力
E グローバルリーダーシップ	自然と科学技術との調和を地球規模で考え、その実現を目指していく行動力とリーダーシップ。また、持続可能で多様性と包摂性のある社会や科学技術を作り出そうとする主体性

6 Ⅲ期目の特徴・中核となる取組

- (1) 学校設定科目「SSH産業社会」「SSH探究」により学校全体で探究活動を実施
生徒は、「GS(グローバル探究コース)」と「SS(サイエンス探究コース)」のいずれかを選択
課題研究の深化と、問題解決型学習(PBL)の拡充、STEAM教育の充実を図る。
○GSコースを選択した生徒は、地域の課題等をテーマとした探究活動を実施
○SSコースを選択した生徒は、地域の課題等に理数系をテーマとした高度な探究活動を実施。
- (2) 会津大学の学生、大学院生、教授等からの指導體制(メンター制)の確立を目指す。
- (3) 会津大学、地元企業との連携をいかした課題研究の充実と人材育成システムの構築を目指す。
- (4) 福島県や日本における理数教育の拠点校となる等、研究活動の充実と研究成果の普及を行う。